

【佐賀県立伊万里実業高等学校】文理融合型教育による「いまりん6次化」実践プログラム

目的

- 地域から求められる専門高校として、地域資源を活用した「6次産業化」を実践できる人材育成が必要
- 多様化する進路ニーズに適応した学びが必要

カリキュラム概要

6次産業化人材を育む文理融合型の学科・教科等横断による専門教育を推進する実業系高等学校の新しい教育モデルの確立と普及

新しい教育方法

学科の枠を超えた学び合いと外部講師の活用

伊万里実業高校コンソーシアム

高等研究機関(大学等)

専門家・実務家等

地元自治体等

地元住民・企業等

コーディネータ
連携・協働

商業科

情報
処理科

伊万里実業高校
農林キャンパス
商業キャンパス

森林
環境科

フード
ビジネス科

生物
化学科

令和7年度の目標

- 今年度は、学科を超えた学び合いを推進し、生徒が多様な専門分野への関心を広げるとともに、専門性を組み合わせ活用できる力を育成する。
- 外部講師の活用を強化し、学校の枠を超えた視点や実社会の知見を学ぶ機会を充実させることで、地域や社会の課題に主体的に向き合う思考力と実践力の育成を図る。

取り組み状況

【5学科共同課題研究（竹プロ）】

全学科から総勢26名の生徒が協力しながら、放置竹林問題の解決に向けて学科横断型の研究活動に取り組み、協働的な課題解決に向かう力を育成することを目指している。

【課題研究発表会】

農業及び商業の実践的で体験的な学習活動を行う課題研究の成果を発表することによって、農業と商業を学んだ生徒同士の学び合いを目指している。

【ビジネスプランコース】

ビジネスプランコースでは、1・2年次に学習した簿記、マーケティング、情報処理などの商業科目を総合的かつ実践的に活用し、専門科目への理解を多面的に深める授業を実施した。また、生徒が自ら課題を設定し主体的に学習を進めることで、将来に活かせる実践的スキルの習得を目指した。加えて、外部講師を招いた課題研究を実施し、地域産業振興に寄与し得る人材育成の促進につながった。

成果と課題

- 放置竹林問題という複合的課題に向き合う過程において、学科ごとの専門性を持ち寄り協働することで、実践的な問題解決力を高めることができた。
- 外部講師やコーディネーターと連携した授業では、生徒の多様な価値観や発想が引き出され、個々の特徴を活かした学びに発展した。
- 今後は、外部講話や企業訪問を積極的に取り入れ、生徒の思考を深めていく予定である。これらの取組を継続することで、地域課題に主体的に向き合い、自立して問題を解決できる生徒の育成を期待している。

【宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校】 VUCA時代を生き抜く野性味あふれる「価値創造人材」の育成

国際社会で活躍する人材の育成

野性味や冒険心の育成

主体的に生きる人間の育成

デジタル×リアル ⇒ 4D (新次元の教育活動)

リアルな「学びの時空間」

Design × Dialogue

探究力を育む
授業デザイン

学びの森に根付く
対話の文化

教科横断型授業
学校設定科目
遠隔協働授業

寮での「学びあい」
哲学対話
地域との協働

デジタルな「学びの時空間」

Data × Digital

データによる
自己の振り返り

学びの森版
「未来の教室」

Ai-GROW
数理探究アセスメント
ICE-Qs

1人1台端末
VR・3Dプリンタ
メタバース・ドローン

Digital × Real 新時代の学び

Society5.0に対応する先端的な学び

Glocal

2019~2021 地域との協働事業

Global

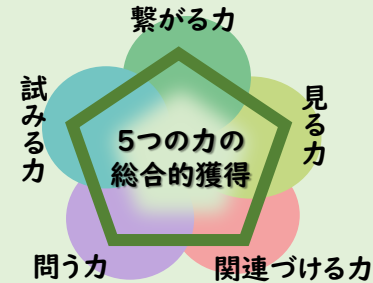
2014~2018 SGH事業

Local

1986~ フォレストピア構想

本事業を実施する目的・目標／具体的な取組

VUCA時代を生き抜く野性味あふれる「価値創造人材」の育成



- 令和7年度 成果と課題
- 学校設定科目「学際探究基礎」「学際探究」の開発と実装
 - クラウドと生成AIを活用した教科横断型授業の「日常化」
 - 「野性味あふれる価値創造人材」の定義と解釈の明確化
 - 3年間の事業を通じた「5つの力」の確実な成長と評価
 - 「学びの道しるべ(単元シラバス)」運用による学びの自走
 - 全生徒履修化に伴う「学際探究」

成果検証
評価

- OAIアセスメントによる自己・相互評価
- 数理探究アセスメントによる「創造力」の評価

21世紀型
スキルの育成

- 探究力を育む学校設定科目の開発
- 文理融合・教科等横断的な学びの推進
- オンラインを活用した大学等との連携

現状と課題

- 教科教育と探究活動との分断・孤立化
- 学校外の研究機関等との連携機会減少
- コロナ禍による校外学習の機会減少

関係機関との連携・協力体制 (コンソーシアム)



宮崎県
教育委員
《管理・指導・評価》

運営指導委員
カリキュラム
アドバイザー
《指導・助言・評価》